

Sealex AP

シーレックス AP

カチオン性アクリル系高浸透型エマルジョン



16kg/ 角缶



4kg/ ポリ缶



1kg/ ポリ缶

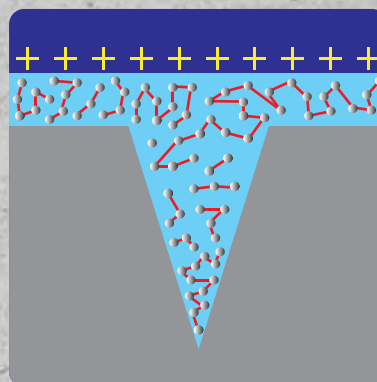


【塗布】水系高浸透型改修用シーラー

シーレックス AP は、現場施工用水性シーラーとして開発したカチオン性のアクリルエマルジョンです。

優れた浸透性を有しながら、下地旧塗膜適正、脆弱下地の補強に良好な効果を示します。

※ モルタル混入は不可



カチオン性であり、一般的なアニオンタイプの塗料との密着性良好

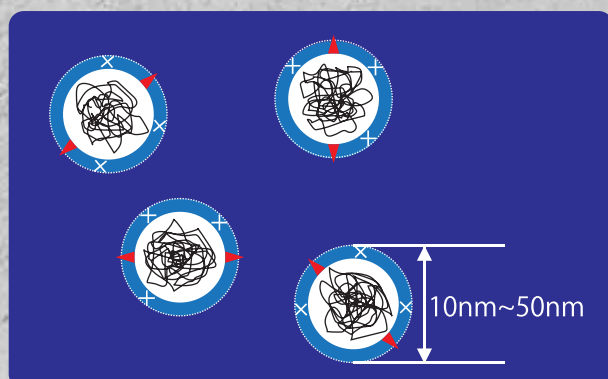
高浸透型微粒子が基材深くまで浸透してアンカーを形成。更に架橋して補強。

特徴

シーレックス AP は超微粒子高浸透成分を含有し、各種基材に対する浸透性に優れています。

架橋システム〔複数の高分子（ポリマー）鎖が化学結合によってつながり、立体的な網目構造を形成すること。〕の導入により優れた固着性を有し、耐水性、耐温冷繰り返し性が良好です。

下地旧塗膜や弾性塗料との密着性に優れ、改修適正に優れています。



シーレックス AP

用途

- 脆弱なモルタルおよびコンクリート下地の補強
- 劣化したサイディング下地の補強
- 旧樹脂塗膜の補強
- 吸水の激しい下地 (ケイカル板 等) の吸水止め

荷姿

- 16kg/ 角缶 約 212m²~ 約 320m²
 - 4kg/ ポリ缶 約 53.2m²~ 約 80m²
 - 1kg/ ポリ缶 約 13.3m²~ 約 20m²
- (下地の材質や状態により吸水量が異なりますが、ここでは 150g/m²×2 度塗りで計算しています。)

性状

- 主成分 (メタ) アクリル酸エステル
- 外観 淡黄乳白色液体
- 固形分 31.0% ~ 34.0%
- 粘度 150mPa・s 以下
- p H 5.0±1.0
- MFT 0℃
- Tg 13℃

調合



16kg/ 角缶の場合、清水 16ℓ ~ 32ℓ
1 : 1 ~ 2 (2 ~ 3 倍液)

施工上のご注意

- ◎ 下地処理
レイタンスを完全に取り除き水洗いをしてください。
油や汚れは完全に除去し、水洗いまたは高圧洗浄を行ってください。
- ◎ 施工時
壁面を清掃後、シーレックス AP を希釈し、全面をローラーまたは刷毛にて 1 回目塗布し、乾燥後に 2 回目を塗る。
他の部位に付着しない様、注意しながら塗布してください。
- ◎ 施工直後
使用した道具は、作業終了時に直ぐに水洗いをしてください。
通風や直射日光を避け、急激な乾燥にならないよう配慮願います。また降雨・降雪のおそれがある場合は、シート養生等必ず実施してください。

注意事項

- ◎ 輸送上の注意
積み込み・降ろしの際は、内容物の漏れに注意し、転倒・落下・損傷がないように荷崩れ防止の措置を必ず採ってください。
- ◎ 漏出時の注意
万一、漏出した場合は土壌などで流路を塞ぎ止め、バキューム等で吸み上げるか、少量の場合でもウエスやおが屑などで吸収し、産業廃棄物として処理してください。
- ◎ 使用上の注意
必ず保護具 (保護メガネ・マスク・保護手袋 等) を着用して作業してください。
換気の良い場所で作業してください。
使用後の器具類は早めに水洗いを行ってください。
取り扱い後は、うがいおよび手洗いを十分に行ってください。
- ◎ 施工上の注意
施工中・後および硬化前に降雨・降雪の可能性がある場合は、施工の延期をご検討ください。
また気温が 5℃ 以下の場合は、施工を延期するか適切な保温・採暖措置を講じて養生してください。
- ◎ 緊急措置
目に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の診察を受けてください。
誤飲した場合は、直ちに多量の水や白湯などを飲ませ吐かせた後、医師の診察を受けてください。
皮膚に付着した場合は、付着した衣服や靴を脱ぎ、付着した部分に水をかけながら洗浄してください。
- ◎ 保管上の注意
直射日光や凍結を避けるために、必ず室内 (5℃ ~ 40℃) で保管してください。
開封後の使用残は、密封した状態で保管してください。
製造日から 6 ヶ月以内を目安に使い切ってください。
- ◎ 廃棄上の注意
内容物および使用済み空き容器を廃棄する場合は、各都道府県の条例に基づき処理をするか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- ◎ 環境への配慮
下水道・河川・海はもとより公共・一般水域へ流入すると、広範囲に渡って思わぬ被害の拡大も起こりますので、絶対に廃棄したり誤って流入させないでください。
万が一流入した場合は、直ちに地方自治体の担当者に連絡してください。
また地中への投棄も絶対に行わないでください。



— モノづくりから仕事づくりへ —

富士川建材工業株式会社

— 東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡 —

TEL 045-772-1811

FAX 045-772-0467

<https://fujikawakenzai.co.jp>

mail@fujikawakenzai.co.jp



MS
CM015



ISO 9001
JTCCM
QSCA
RQ 2004
(登録商標) <https://www.jtccm.org/>